

## 産業建設委員会

「60Hz⇄50Hz」

【現地視察】令和3年10月22日 中部電力パワーグリッド飛騨変換所

2021年3月からの運用開始に伴う設備調査のため、清見町にある中部電力パワーグリッド飛騨変換所の現地調査を実施しました。本設備の運用開始により、大規模災害の発生時の電力の安定的な供給や平常時の電力取引の活性化、再生可能エネルギーの導入拡大などが期待されます。

設置の目的：2011年の東日本大震災において、多数の発電所を始めとする電力設備が被害を受け、大幅な電力の供給力の不足や計画停電等により社会生活に混乱を招きました。このような事態を未然に防ぎ、安定的に電力を供給することを目的として、東日本50Hzエリア、西日本60Hzエリアの地域間相互応援能力を900MW増強することとし飛騨変換所が建設されました。

役割：飛騨変換所(60Hz)は、東京電力パワーグリッド株式会社の保有する新信濃変換所(50Hz)と直流の送電線で結ばれ、これらと一体となって「飛騨信濃周波数変換設備(FC)」を形成しており、60Hzの交流の電気を直流の電気に変換する交直変換設備としての役割を担っています。また、電力の供給力不足時だけでなく、平常時における東日本と西日本とをまたいだ電気の市場取引においても重要な設備となります。

特徴：清見町上小鳥の国有林内の気象条件の厳しい豪雪地帯に位置しているため、このような環境でも正常に運転できるよう積雪2メートル、マイナス30度に耐えられる設計となっています。



## 議員定数及び報酬に関する特別委員会

「求められる議会・議員像 ～議会活動を市民に可視化～」

【分野別市民意見交換会】令和3年11月29日

議員定数及び報酬に関する特別委員会では、これまで議会に対し議員定数の削減の陳情をいただいております高山商工会議所ほか6団体の皆様と意見交換会を行いました。

出席いただいた方からは、「人口比や可住地の面積など他市との比較から議員定数を検討する余地があるのではないか。」「若者や女性が参画しやすい環境づくりをしてほしい。」「議員がどのような将来像を示すかによって、議員定数も変わってくるのではないか。」「人口減少が続く中、将来の人口推計を考慮すると、議員定数は20人程度が妥当ではないか。」「各支所地域に最低1人くらい議員がいてくれるとありがたい。」「市議会議員に求められるのは、地域代表や職域代表ではなく、行政の監視をしっかりと行うこと。行政側に対し意見を述べていくことが求められる姿ではないか。」など多くのご意見をいただきました。

今回いただいたご意見や1月から開催している地域別市民意見交換会でのご意見をもとに、更に特別委員会で議論し、3月に議員定数を決定することとしています。

